

府立学校建物の耐震性能について

平成30年3月31日現在

校種	学校数 ※1 校	全棟数 ※2	耐震性能						
			現行の建築基準法と同等の耐震性能を満たすもの				現行の建築基準法と同等の耐震性能に満たないもの		
			A(1) 棟数	A(2) 棟数	A(3) 棟数	計 棟数	B 棟数	C 棟数	計 棟数
府立高等学校	138	1,137	174	631	332	1,137	0	0	0
府立支援学校	41	251	56	82	113	251	0	0	0
府立学校計	179	1,388	230	713	445	1,388	0	0	0

※1 府立支援学校数は摂津支援学校・とりかい高等支援学校のような1施設2校は1校扱いとしています。

※2 非木造2階建以上又は延床面積200㎡以上の建物

○「耐震性能」欄

A(1)：耐震診断の結果、現行の建築基準法と同等の耐震性能を満たすもの

A(2)：耐震診断の結果を踏まえ、耐震改修を実施し、現行の建築基準法と同等の耐震性能を満たすもの

A(3)：現行の建築基準法により建設されたもの

B：耐震診断の結果、現行の建築基準法と同等の耐震性能に満たないもののうち、2次診断結果のIs値0.3以上0.6未満に相当すると判断したもの

C：耐震診断の結果、現行の建築基準法と同等の耐震性能に満たないもののうち、2次診断結果のIs値0.3未満に相当すると判断したもの

(詳しくは別表「[耐震性能表](#)」をご参照ください。)

◆耐震診断の実施状況

阪神・淡路大震災における建築物の被災状況調査において、昭和56年の建築基準法施行令の改正以降に建設された建築物には大きな被害が見られませんでした。

このため、昭和56年以前に建設された、府立学校の校舎や体育館などの建築物の耐震診断を、平成7年度から順次実施し、139校、925棟の耐震診断を平成19年3月に完了し、全校全棟の耐震性能が明らかになりました。

なお、棟別の耐震性能は、別添の「[\(全校\)棟別耐震性能一覧表](#)」のとおりです。

◆耐震化事業計画

平成19年3月に大阪府が策定しました「府有建築物耐震化実施方針」に基づき、府立学校については、平成26年度末を目標に、現行の建築基準法と同等の耐震性能に満たないもの(耐震性能が「B」及び「C」と判定されたもの)については耐震改修を計画的に実施します。

特に、耐震性能が「C」と判定されたものについては、平成23年度までに耐震化に着手しました。